

運営推進会議開催報告書

1. 基本情報

事業所名	わくわくの里		
サービス種別	小規模多機能型居宅介護		
所在地	横浜市瀬谷区橋戸三丁目69-2		
担当者	飯塚 陵子	連絡先	045-300-0606
運営法人	特定非営利活動法人 ワーカーズわくわく		

2. 開催日時・場所

日時	2024年 3月 21日(木) 14:00~15:30	場所	相鉄瀬谷団地自治会 集会所
----	--------------------------------	----	---------------

3. 出席者

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
欠席	市の職員又は地域包括支援センターの職員	瀬谷区高齢・障害支援課
石田 邦彦	市の職員又は地域包括支援センターの職員	下瀬谷地域ケアプラザ包括支援センター
寺下 眞一郎	地域住民の代表者	自治会会長
小柴 喜代司	当該サービスに知見を有する者	傾聴ボランティア
大橋 幸	利用者又は利用者の家族	
中村 智美		わくわくの里(看護師)
飯塚 陵子		わくわくの里(管理者)
高木 富子		わくわくの里(ケアマネ)

4. 活動状況報告

別紙参照

(裏面あり)

5. 活動状況に関する評価・意見・要望

- ① 自治会ではBCP計画など作成していないがどんなものか。
会長である自分がいなかった場合の変わりがいない。その場にいる誰かがやるしかない。
- ② 地域とのつながりを持つのは大事。いかに地域にアピールするかは戦略が必要だ。
地域の掃除などへの参加も同じ時間に参加することばかり考えると難しいが、事業所で動ける時間に単体で動くようにすれば実現しやすいのではないか。
- ③ 地域交流で集会所を使うのは、自治会員が参加していれば問題ない。
集会所ではなく公園使用の場合は、申請し許可が下りないと使用できないので注意が必要である。
- ④ 看護師の存在は災害時も非常に助かる。
- ⑤ SOSネットワークや瀬谷八福札キーホルダーなど、一人を出かけて場所がわからなくなってしまった方の発見ツール(本人確認の情報共有)は色々できているので、そのようなツールを利用していくことは不安軽減につながるのではないか。(包括での事例など紹介していただいた)

6. 評価・意見・要望に対する考え・取り組み

- ① 2024年度からは、BCP計画策定が義務となるためすべての事業所で作成している。災害・感染に対してそれぞれ作成必須で、わくわくの里もひな形に沿って項目内容をまとめている。
次回、BCP計画書を見ていただけるよう持参します。
- ② 同じ活動時間での参加と考えてきたが、別日、別時間でのかかわりで参加する発想は共感できる。
事業所が無理なくかかわれる方法を検討していきたいと思う。
- ③ 集会所は広さもあり、集会所を起点に人が集う企画(歌声喫茶等)を考えていくと地域交流の場もでき、わくわくの里
アピールにもつながり効果的と思う。
年間計画の中で実現できるよう検討していきたい。良いアドバイスをいただき有難い。
- ④ 常勤看護師の配置により医療的な強みが高くなり、利用者様にとってもスタッフにとっても効果が出ている。
- ⑤ 地域の中で不安を抱えている方を発見することはあり、身元の分かる情報ツールが色々できているのは有難い。利用者様にも情報提供している。

7. 地域からの情報提供

特になし

8. その他特記事項

2024度の会議開催時期については、4月に案内を渡します。
開催場所として、事業所での開催を検討していきます。(感染対策により自治会集会所にて開催していた)
外部評価(2023年度)を実施した。

※ 会議は原則事業所内で行ってください。
やむを得ず他の場所で開催する場合、必要に応じて事業所内の見学を行ってください。

運営推進会議開催報告書

1. 基本情報

事業所名	わくわくの里		
サービス種別	小規模多機能型居宅介護		
所在地	横浜市瀬谷区橋戸三丁目69-2		
担当者	飯塚 陵子	連絡先	045-300-0606
運営法人	特定非営利活動法人 ワークスわくわく		

2. 開催日時・場所

日時	2024年 1月 18日(木) 14:00~15:00	場所	相鉄瀬谷団地自治会 集会所
----	--------------------------------	----	---------------

3. 出席者

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
斎藤 亜希子	市の職員又は地域包括支援センターの職員	瀬谷区高齢・障害支援課
蔦屋久美子 欠席	市の職員又は地域包括支援センターの職員	下瀬谷地域ケアプラザ包括支援センター
寺下 眞一郎	地域住民の代表者	自治会会長
小柴 喜代司	当該サービスに知見を有する者	傾聴ボランティア
大橋 幸	利用者又は利用者の家族	
新川 美知代		わくわくの里

4. 活動状況報告

別紙参照

(裏面あり)

5. 活動状況に関する評価・意見・要望

1. 元旦の大地震をうけて、自分たちの身になって色々と考えさせられた。
普段の自治会防災訓練での参加率も非常に少なく、実際の災害でどれだけの方が一時避難所に集まってくるのかわからない。里さんも近隣の人を受け入れますなんて言わないほうがいい。できないことはできないと伝えておくことが良い。自分たちの身を守ることが大事だ。
BCP計画を作成しているとのことだが、区としても内容をぜひ見せてほしい。
実際の地震では区としては震度5強の場合は全職員が招集となる。避難場所に集まる方が自治会に加入していないと受け入れないということはない。
2. この時期はインフルエンザやコロナなど感染症が拡大している。地域活動も中々以前の状態にもどれていない。もどかしいが仕方ないことと受け止めている。
3. インスタグラムは一切やっていないし、ネット社会についていけないし身近な人とのつながりの為だけに活用できればいいと思っている。

6. 評価・意見・要望に対する考え・取り組み

1. 元旦の地震は改めてBCP計画の内容を検証でき、ある意味いい機会になった。
実際何時に発生するかで、対応が変わってくる。色々な場面を想定しながらシュミレーションを重ねていきたい。
外部からの受け入れは現実的には厳しいと判断している。
実際に現場に必要な情報とは何かを聞くことができ、今後の訓練にも生かしていきたいと思う。
2. コロナが5類になって時間もたってきているが、外部からの受け入れには慎重にならざるを得ない。
感染対策を行いながら、できる範囲で外出やレクリエーションなど行い非日常の楽しみを増やしていきたいと思う。
3. わくわくの里だよりにQRコードを乗せて昼食メニューをインスタグラムで配信しはじめた。
多くの方に検索していただきたい。
インスタグラムは人材募集につながるツールとしてはじめた。

7. 地域からの情報提供

特になし

8. その他特記事項

次回の運営推進会議は外部評価を行い、会議時間の30分延長をお願いした。
1月中にスタッフ個別評価を実施。2月に事業所評価をまとめ推進会議参加者に送付予定。

※ 会議は原則事業所内で行ってください。
やむを得ず他の場所で開催する場合、必要に応じて事業所内の見学を行ってください。

運営推進会議開催報告書

1. 基本情報

事業所名	わくわくの里		
サービス種別	小規模多機能型居宅介護		
所在地	横浜市瀬谷区橋戸三丁目69-2		
担当者	飯塚 陵子	連絡先	045-300-0606
運営法人	特定非営利活動法人 ワーカーズわくわく		

2. 開催日時・場所

日時	2023年 11月 16日(木) 14:00~15:00	場所	相鉄瀬谷団地自治会 集会所
----	---------------------------------	----	---------------

3. 出席者

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
欠席	市の職員又は地域包括支援センターの職員	瀬谷区高齢・障害支援課
登川 綾乃	市の職員又は地域包括支援センターの職員	下瀬谷地域ケアプラザ包括支援センター
寺下 眞一郎	地域住民の代表者	自治会会長
小柴 喜代司	当該サービスに知見を有する者	傾聴ボランティア
大橋 幸	利用者又は利用者の家族	

4. 活動状況報告

別紙参照

(裏面あり)

5. 活動状況に関する評価・意見・要望

- ①第2地区文化祭は1,000人ほどの見学者があり賑わった。わくわくの里も出展してくれたが、特に関心をもって見ていた印象はないがかかわってくれることは大事なこと。
開催にあたり多くの方が協力して成り立っているが若手が参加するためにも参加日程や内容を工夫しながら今の時代にあった地域活動を進めていく必要がある。
- ②毎月の全体会議の中で始めた話し合いの取り組みはとても良い。
スタッフが抱えている課題を皆で意見をかわせる場をつくっている体制は素晴らしい。今後も継続していくことを望む。
- ③わくわくの里だよりから発信されている行事は、事業所の積極的な取り組みが読み取れ、特に個別に行っている外出はとても良い。
昼食の季節料理などもわくわくさんらしさが出ている。
- ④個別対応は理想的だが中々実現に結びつかないことが多いが、現状維持で満足せずに一步踏み込んでサービスの質をあげている取り組みは素晴らしい。そのために利用者に対して向き合っている姿勢は大事なことだ。
- ⑤地域に気になる方は必ずいるが、その人が望んだ暮らしをしている。その生活スタイルを受け入れ見守るしかない。
何か問題があれば、警察や行政が動く。

6. 評価・意見・要望に対する考え・取り組み

- ①通常開催の作品展に参加できありがたかった。このような形でも地域とつながることができることは大事と思う。
利用者のADLが落ちているため会場に連れていけなかったのは残念だった。
来年もぜひ参加したい。
- ②課題抽出によりテーマを絞って話しあう時間は30分程度だが全員のスタッフが意見をのべ共有する取り組みは非常に実り多いものだ。皆さんから好意的な意見をいただき今後も継続し効果をあげていきたい。
- ③感染対策をしながら少しずつ外出企画を増やしてきている。少人数で個別の希望に合わせての外出は利用者にも好評だ。昼食も個人の食べたいものを献立に反映するなど、個別対応に力をいれている。
このような取り組みがサービスの質向上につながっていると感じている。
- ④今回のテーマは「地域で気になる人はいませんか」で話し合いを行ったが、皆さんが気になっている方がほぼ同じ対象者であることにびっくりした。こちら側が気になっても、当人にとっては困っておらず生活は成り立っている。
今回、この話題で情報共有できたことはとても良かった。地域のつながりの重要性を感じた。

7. 地域からの情報提供

8. その他特記事項

※ 会議は原則事業所内で行ってください。
やむを得ず他の場所で開催する場合、必要に応じて事業所内の見学を行ってください。

運営推進会議開催報告書

1. 基本情報

事業所名	わくわくの里		
サービス種別	小規模多機能型居宅介護		
所在地	横浜市瀬谷区橋戸三丁目69-2		
担当者	飯塚 陵子	連絡先	045-300-0606
運営法人	特定非営利活動法人 ワーカーズわくわく		

2. 開催日時・場所

日時	2023年 9月 21日(木) 14:00~15:00	場所	相鉄瀬谷団地自治会 集会所
----	--------------------------------	----	---------------

3. 出席者

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
寺田 百花	市の職員又は地域包括支援センターの職員	瀬谷区高齢・障害支援課
石田 邦彦	市の職員又は地域包括支援センターの職員	下瀬谷地域ケアプラザ包括支援センター
寺下 眞一郎	地域住民の代表者	自治会会長
小柴 喜代司	当該サービスに知見を有する者	傾聴ボランティア
大橋 幸	利用者又は利用者の家族	

4. 活動状況報告

別紙参照

(裏面あり)

5. 活動状況に関する評価・意見・要望

- ①地域での行事は増えている。運動会は感染拡大を懸念して、飲食はなしとなっている。
- ②虐待案件は中々おもてに出てこない。家の中に入ることによって実態がわかるのでつながることが重要。
- ③サービスにつながることを望ましいが、当事者以外の方からの相談も多い。申請主義のため本人が申請しないと受け付けないため結果的に適切なタイミングでサービスにつながるができず状態悪化を招くこともある。利用料に対する不安や、自分はまだまだ平気等、本人が自身の衰えを認めないことが多い。自治会への相談は全くない。包括の相談は多く、家族からは1月、5月が多い。
- ④元気なうちから地域とつながると回りの人達に関心をもって見守ってくれる。異変をできるだけ早く見つけてもらえる環境を元気なうちに構築しておくことが大事。現状は必要性を感じていない。

6. 評価・意見・要望に対する考え・取り組み

- ①事業所でも少しずつ行事を増やしている。個別対応が中心だが外出も増やしている。感染対策や個別配慮は必要だが、楽しみを増やしていくことは大事なことだと捉えている。
- ②虐待案件での安全確保のタイミングは難しいが、行政との連携によりスムーズに事が進み良かったと思う。虐待への学びを深め、より適切に対応できるスキル向上をめざしていきたい。
- ③介護保険制度ができてサービスにゆだねてしまう家族も増えている。また、当事者も聞く耳を持つことが大事である。事業所としてもサービスの内容や事例など地域に説明する機会をつくっていききたいと思う。必要な時に必要なサービスにつながる段取りがスムーズにいくために、情報発信を積極的に行っていきたい。
- ④近隣との良好な関係作りを事業所としても継続していきたい。

7. 地域からの情報提供

10月地域運動会 11月文化祭(4, 5日) 自主防災訓練

8. その他特記事項

※ 会議は原則事業所内で行ってください。
やむを得ず他の場所で開催する場合、必要に応じて事業所内の見学を行ってください。

運営推進会議開催報告書

1. 基本情報

事業所名	わくわくの里		
サービス種別	小規模多機能型居宅介護		
所在地	横浜市瀬谷区橋戸三丁目69-2		
担当者	飯塚 陵子	連絡先	045-300-0606
運営法人	特定非営利活動法人 ワーカーズわくわく		

2. 開催日時・場所

日時	2023年 7月 20日(木) 14:00~15:00	場所	相鉄瀬谷団地自治会 集会所
----	--------------------------------	----	---------------

3. 出席者

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
寺田 百花	市の職員又は地域包括支援センターの職員	瀬谷区高齢・障害支援課
石田 邦彦	市の職員又は地域包括支援センターの職員	下瀬谷地域ケアプラザ包括支援センター
寺下 眞一郎	地域住民の代表者	自治会会長
小柴 喜代司	当該サービスに知見を有する者	傾聴ボランティア
大橋 幸	利用者又は利用者の家族	

4. 活動状況報告

別紙参照

(裏面あり)

5. 活動状況に関する評価・意見・要望

- ① BCP対策の説明にあわせ参加者からもそれぞれ意見が聞けた。
最悪を考えて計画をたてるとお金がかかる。自助が基本だが、地域として何が必要かは毎年検討している。
訓練の要点は自分のことは自分で守れること。
- ② 地域ケアプラザでの対策はもちろん備蓄もしているが十分とはいえない。地域の方々に対しどこまで対応ができるかはわからない。実際災害になった時の正しい情報の伝え方、情報の把握の仕方など混乱を招かないための方法を考えていく必要がある。
- ③ 傾聴ボラとして活動している中で少しずつ個人宅への訪問依頼が増えてきている。
施設訪問と違い個人のお宅での1対1の対応は、それなりの研修と実績を積んだボランティアが対応することが望ましい。

6. 評価・意見・要望に対する考え・取り組み

- ① BCP計画が現状にあわせた具体的な内容になるよういしていきたい。地域の状況にあわせて受け入れの体制など具体的な指標を示していく必要があると認識した。
できないことは無理をしないで、まずは利用者、スタッフの安全を優先とした計画を整えていきたい。
- ② 地域の介護事業所の実態把握も必要と感じた。
事業所間で連携をとっていくために普段から交流や情報交換を行い距離感の近い関係を構築していきたい。

8. その他特記事項

わくわくの里に新たなスタッフが勤務となり今回会議に参加した。

※ 会議は原則事業所内で行ってください。
やむを得ず他の場所で開催する場合、必要に応じて事業所内の見学を行ってください。

運営推進会議開催報告書

1. 基本情報

事業所名	わくわくの里		
サービス種別	小規模多機能型居宅介護		
所在地	横浜市瀬谷区橋戸三丁目69-2		
担当者	飯塚 陵子	連絡先	045-300-0606
運営法人	特定非営利活動法人 ワークズわくわく		

2. 開催日時・場所

日時	2023年 5月 19日(木)14:00~15:00	場所	相鉄瀬谷団地自治会 集会所
----	----------------------------	----	---------------

3. 出席者

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
斉藤 亜希子	市の職員又は地域包括支援センターの職員	瀬谷区高齢・障害支援課
登川 綾乃	市の職員又は地域包括支援センターの職員	下瀬谷地域ケアプラザ包括支援センター
欠席	地域住民の代表者	自治会会長
小柴 喜代司	当該サービスに知見を有する者	傾聴ボランティア
大橋 幸	利用者又は利用者の家族	

4. 活動状況報告

別紙参照

(裏面あり)

5. 活動状況に関する評価・意見・要望

- ① コロナ5類になり社会情勢的には緩和の方向で進んでいるが、事業所としての対応はどうしているか。
施設などはまだ面会は躊躇しているようだ。
- ② 近隣でもわくわくさんの評判は良いが支援の方が多いので、要介護になったら利用可能ですと伝えている。
利用者さんに寄り添って対応することは大切ですね。
訪問理美容は利用している方が多いが、床屋に連れて行ってあげてお店でカットや洗髪などやってもらえれば利用者の方もうれしいだろうと思います。
小規模ならではの取り組みですね。
- ③ 傾聴ボラとしての活動が再スタートとなり、個人宅への傾聴もふえてきている。
圧倒的に女性の依頼が多い。訪問要員も男性は躊躇される方もいる。
- ④ 里だより4月、5月号を配り様子を見る事ができとてもわかりやすくいいです。

6. 評価・意見・要望に対する考え・取り組み

- ① 事業所としての対応は今までとあまり変えていない。職員の抗原検査は5月より中止したが、消毒・マスク着用は継続しパーテーションも継続している。外部の受け入れや、外出、イベントは感染対策を行いながら緩和していく。墨笑会については、5月より再スタートする。来所時に抗原検査を実施し感染確認を行う。
- ② 嬉しいご意見をいただけてありがとうございます。
事業所としてできるだけ利用者様に寄り添ったケアを心がけている。また、本人の想いを実現するためにはどうするかをスタッフで相談している。最初から無理だよねとあきらめる事だけはやめたいと思っている。
自分の思いを実現できた時の利用者様の満足感は大きい。
- ③ 傾聴ボラの活動は広がりをみせているのだと感じた。
わくわくの里でもはやく傾聴ボラさんの受け入れができる体制を整えていきたい。
- ④ 里だよりは担当スタッフが毎回内容を吟味して構成している。写真が多く、皆さんに伝わりやすいよう工夫されてお非常に効果的な発信ツールとなっている。
利用者様には契約時に写真掲載の同意書をいただき対応している。

8. その他特記事項

当事業所から看護師、介護職員2名が参加した。

※ 会議は原則事業所内で行ってください。
やむを得ず他の場所で開催する場合、必要に応じて事業所内の見学を行ってください。